

【事例発表】

団体名： Viva おかざき！！

<団体紹介>

2010年設立。愛知県岡崎市を中心に「国籍・文化の壁を越えて誰もが住んでよかった Viva（＝バンザイ）と思える地域社会」のために活動している。外国人向けセミナーや相互理解のための交流イベントから活動をはじめ、2014年より日本語教室や日本人住民と外国人住民をつなぐ人材育成などを行っている。

<日本語教室概要>

日本語教室は、ことばを学ぶだけの場ではなく、外国人住民が知識・情報を得ることができ、さまざまな人と交流できる場になっている。外国人住民が、自分らしく生き生きと暮らし、自立をして、地域と一緒に支えていける存在になるためのサポートを行うために、以下の教室を実施している。

①生活に役立つ日本語教室

外国人住民の実生活につながる日本語と生活知識を学ぶことで、日本社会でできることを増やすことを目的とした教室。地域との接点づくりも積極的に行っている。



◀近所のスーパーで
実際に商品をチェック



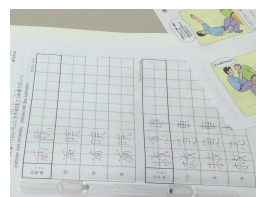
◀バスに乗って
和菓子屋さんへ

②生活に役立つよみかき教室

読み書き能力を育成することで、外国人住民の社会的な自立を目指す教室。外国人住民の自己表現と、地域住民の外国人住民への理解を深める場づくりを行う。



◀日本語パートナーから
生きた日本語を学びます



◀書き込み型の
ワークシートを作成

③支援に役立つ日本語教室

緊急時・災害時に支援者になるための日本語と知識を学び、地域を支える人材育成を目的とした教室。専門機関と連携をして、専門知識をより実践的に学べるプログラムとするとともに、外国人も支援者になれることを地域に積極的に発信している。



◀消防署の救命講習で
AEDを練習



◀岡崎市防災課より
地震講座を受講

事業実施概要

| | | | | |
|-----------|---|--|-----|---|
| 事業名称 | 市民が主役！！参加型ワークショップを通じた体制整備事業1.0 | | | |
| 地域の課題 | 愛知県岡崎市では、日本語学校・大学が留学生に対する日本語教育及び日本語講師養成を行い、ボランティア団体及び行政が地域の外国人市民に対して日本語教育を行っている。しかし、連携が行われておらず、外国人住民の情報や課題が共有できていない。 | | | |
| 事業の目的 | 外国人市民が地域に参加できる関係づくりのため、外国人市民も日本人市民も一緒に岡崎市の多文化共生に資する日本語教育のあり方について考える場を設ける。また、日本語ボランティア、行政、大学を含めて、お互いの取組みを知り、岡崎市における日本語教育の課題と解決方法を考え、体制整備のためのネットワーク構築を行う。 | | | |
| 事業内容 | 取組1 | | 取組2 | |
| | 名称 | 市民参加型ワークショップ | 名称 | Viva つながるセミナー |
| | 目的 | 多様な参加者により、既存の日本語教室の「枠」に囚われない、そして社会全体とその将来を見据えた、日本語教育プログラムを議論する。 | 目的 | 日本語教育に関する取組の優良事例を知るとともに、参加団体によるネットワークを構築することにより日本語教育の体制整備を図る。 |
| | 内容 | 外国人市民も含め、岡崎の日本語教育のあり方について考える全7回の参加型ワークショップを実施。 | 内容 | 日本語教育に限らず地域を巻き込んで取り組んでいる事業について学ぶためのワークショップを2回開催。 |
| | 対象 | 一般市民、日本語ボランティア 等 | 対象 | 日本語教育に関心のある市民 |
| | 時間 | 2時間 × 7回（全14時間） | 時間 | 2.5時間×1回、4時間×1回（全6.5時間） |
| | 人数 | 36人 | 人数 | 29人 |
| | 取組3 | | 取組4 | |
| | 名称 | 暮らしに役立つ日本語教室 | 名称 | 成果報告会 |
| | 目的 | 外国人の暮らしに役立つ日本語及び知識を、実践を通して学べる場を参加型で提供し、外国人市民・日本人市民の相互理解の場づくりを行う。 | 目的 | 今後の岡崎市における日本語教育の在り方について今後の方向性（指針）を示し、日本語教育の体制整備に活用する要素を共有する。 |
| | 内容 | ①生活に役立つ日本語教室、②生活に役立つよみかき教室、③（緊急時・災害時の）支援に役立つ日本語教室 | 内容 | 取組報告と、ポスターセッション、ワークショップを通して地域とつながりを持った日本語教室のあり方を検討した。 |
| | 対象 | 外国人市民 | 対象 | 一般市民、日本語教育関係者 等 |
| | 時間 | ①2時間×10回、7回、2回 ②2時間×7回+3時間×1回③2時間×7回+3時間×1回（全72時間） | 時間 | 3時間 × 1回（全3時間） |
| 人数 | 168人 | 人数 | 51人 | |
| 連携体制 | 岡崎市防災危機管理課、消防署、外国人コミュニティー（ブラジル、中国、フィリピン） | | | |
| 成果と課題 | 成果：日本語教育以外の分野や市・県を越えた参加があり、広域的なつながりを作れた。 課題：地域につながる日本語教育を実施するための人材育成と体制づくり。 | | | |
| 参加者の皆様へ一言 | 取組3「暮らしに役立つ日本語教室」を中心に発表します。みなさまのご経験から、今後の活動をより良くするためのアドバイスなどあれば、ぜひよろしくお願ひします。 | | | |